

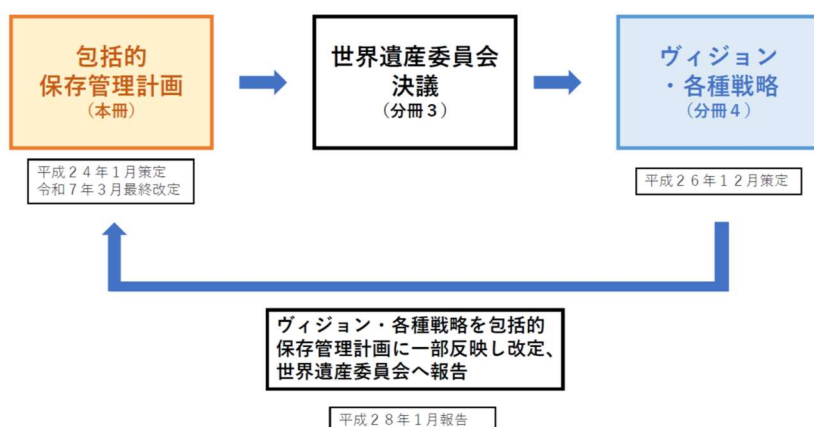
「富士山包括的保存管理計画」の改定及び「ヴィジョン・各種戦略」の見直しについて

1. 概 要

世界遺産委員会の勧告に答える形で「ヴィジョン・各種戦略」を立てたが、策定から長期が経過していることや、登山規制の実施等に伴い、富士山を取り巻く状況が変化する中で、「富士山包括的保存管理計画」（以下、「保存管理計画」という）及び、分冊に掲載の「ヴィジョン・各種戦略」については、位置づけを整理し、内容を見直す必要がある。

2. 包括的保存管理計画と「ヴィジョン・各種戦略」の関係性

保存管理計画	世界文化遺産への推薦の際、緩衝地帯を含め資産全体をどのように保存管理していくのかをまとめたもの。
ヴィジョン	世界遺産登録時に、世界遺産委員会より「資産を『ひとつの存在』として、また『ひとつ（一体）の文化的景観』として管理するためのシステムを実現可能な状態にするよう」との勧告・要請を受け、策定したもの。
各種戦略	ヴィジョンを実現するための方針・手法として定めたもの。



3. 改定の方角について(案)

①目次(構成)の変更

- ・ 第1章に基本理念を追加
- ・ 第10章に遺産影響評価の記載を追加
- ・ 章の構成・章名の変更、分冊を別冊に変更

②「ヴィジョン・各種戦略」の取扱い

- ・ イコモスの指摘への回答という歴史文書のため分離・凍結

③「ヴィジョン・各種戦略」の内容の反映

- ・ 「ヴィジョン・各種戦略」の内容を4章から10章に反映